**緊急時に使用するアクションカードです。**

**各学校の実態に応じて、改変してお使いください。**

**使用の前に必ず下枠内のことを確認してください。**

**第一発見者は「大丈夫ですか？」と肩をたたきながら声をかける**

**反応がない、もしくは（けいれんなど）反応があるか判断に迷う場合は**

**応援を呼ぶ・１１９番通報・ＡＥＤを依頼・カードを準備、**

**これを同時進行で行います。**

**（カードだけに意識を向けないように注意してください）**

**このまま両面印刷、枠ごとにカットして使用します。**

**１か所をリングで綴じて、校舎内各所に備え付けておきます。**

**（設置する場所は、各学校で検討し、定期的に確認してください。）**

**緊急時には、リングからカードをばらし、それぞれの職員に配ります。**

**赤枠は最優先で実施すること、青枠は対応に抜けがないか確認用です。**

**使用後には、カードが欠けたり重複したりしないように確認してください。**

**緊急時、記録（時刻・内容）を残すことが重要です。**

**デジタル端末のメモ機能（音声入力）を活用すると、簡単かつ正確に記録できます。**

**保護者連絡**

**記録**

（このカードに記録用紙を貼付する）

**□｢緊急連絡票・保健調査票｣で**

**連絡先を確認する※連絡先順確認！**

**□状況を伝える(落ち着いた声で)**

**□救急車が搬送する病院を知らせる**

**□管理職に報告する**

**□応急手当の職員の隣で、記録用紙**

**を使用し記録する(記入例有)**

**□救急隊員(保護者)に記録内容を**

**説明する(応急処置担当者と一緒に)**

**□管理職に記録内容を報告する**

**□記録用紙を保管する**

**★最優先★**

**119番通報**

**現場から！**

**救急車誘導**

**周りの児童の安全確保**

学校の住所

電話番号

**「いつ、だれが、どうして、**

**現在どのような状態なのか」**

**□指令室から口頭で指導を受ける**

**□通報後、管理職に報告する**

**＊救急車から連絡が入ることがあるので、**

**通報に使用した回線は空けておく**

**□〇門に立ち、救急車を誘導する**

**□周囲に児童生徒がいる場合は、安全を確保するために誘導する**

**□必要に応じてサイレンの音を切ってもらう**

**保健調査票**

**コピー**

（保管場所：〇〇〇）

**他の児童生徒**

**への対応**

**□○○〇にある保健調査票を**

**コピーし、**

**救急車同乗者　および**

**医療機関への引率者に渡す**

**□現場から児童生徒を移動させる**

**□ブルーシート・人垣等で目隠しを**

**する**

**救命処置**

**（人工呼吸）**

**窒息・溺水等が疑われる場合**

（このカードにマウスシールドを貼付する）

**救命処置　★最優先★**

**AEDの使用**

**昇降口外側・体育館の内側**

（校舎内の設置場所をあらかじめ確認しておく）

**①鼻をつまんで気道確保**

**②１秒吹き込んで、１秒はなす**

**うまくいってもいかなくても2回**

**胸骨圧迫：人工呼吸は**

**30：2の割合で繰り返す**

**人が倒れてから、５分以内の**

**電気ショックが目標！！**

**□最初に電源を入れる**

**□音声メッセージをしっかり聞く**

**□周りを静かにさせる**

**□電気ショックのときは離れる**

**救命処置　★最優先★**

**呼吸の確認**

**↓なし・判断に迷う場合**

**胸骨圧迫**

**アクションカード**

**慌てない　落ち着いて**

**チームで対応！！**

**呼吸の確認**

**上からのぞきこんで、普段通りの呼吸かどうか**

**胸・おなかの動きを確認する（５～10秒）**

**胸骨圧迫　「強く！速く！絶え間なく！」**

**□５㎝の深さ**

**□100～120回/分の速さ**

**□疲れる前に交代（中断時間は短く）**

**□胸骨の下半分**

**☆最優先☆カード**

**□　呼吸の確認　＆　胸骨圧迫**

**□　１１９番通報**

**□　ＡＥＤの使用　（　□　人工呼吸　）**

**□　保護者連絡　　　□　記録**

**□　救急車誘導**

**□　保健調査票コピー**

**□　他の児童生徒への対応**